学校番号	３０１３

令和８年度　工業科（建築設備系）

教科	工業科	科目	建築計画	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「建築計画」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築は、常に人間の視点から計画し設計しなければならない。そのために、まず人間の多様性、人間の生理・心理、行動など、人間そのものに対する理解を深める。そのうえで、機能性、快適性、安全性をふまえた建築・都市空間のデザインに必要な基礎知識を学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・建築物の計画について都市計画を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・建築物の計画に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築計画に関する基礎的な知識・技術を身につけるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。	建築計画の概要や基本計画と関連させながら建築物の計画・設計ができる。快適な建築物とは何かを考え、計画図面に表現できる。	建築計画に関する課題について関心を持ち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	各種建築物の計画	・集合住宅の計画 全体計画 各部の計画	a：建築計画にかかわる知識や技術を、分かりやすくまとめることができる。 b：これまでに習得した知識や技術などを活用しそこで得た知識や経験を基にした発表を行うことができる。 c：建築計画にかかわる知識や技術を主体的に活用できる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト プレゼンテーション	課題プリント提出 グループワーク 振り返りシート
2学期	各種建築物の計画	・事務所の計画 全体計画 各部の計画 ・小学校の計画 全体計画 各部の計画	a：建築計画にかかわる知識や技術を、分かりやすくまとめることができる。 b：これまでに習得した知識や技術などを活用しそこで得た知識や経験を基にした発表を行うことができる。 c：建築計画にかかわる知識や技術を主体的に活用できる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト プレゼンテーション	課題プリント提出 グループワーク 振り返りシート
3学期	都市と地域の計画	・都市と都市計画 ・都市計画制度と都市計画法 ・建築と地域の計画 ・地域の計画とまちづくり	a：建築計画にかかわる知識や技術を、分かりやすくまとめることができる。 b：これまでに習得した知識や技術などを活用しそこで得た知識や経験を基にした発表を行うことができる。 c：建築計画にかかわる知識や技術を主体的に活用できる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト プレゼンテーション	課題プリント提出 グループワーク 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度